

## 倫理委員会議事要旨

開催日時 令和6年7月2日（火）16：00～18：30

場 所 第2会議室

出席者 大山診療部長（委員長）、豊田事務部長（副委員長）  
菅野内科医長、小原神経内科医長、奈良看護部長  
村上外部委員、  
(事務局) 斎藤管理課長

欠席：白畑外部委員

記録：斎藤管理課長

### ＜委員会冒頭＞

倫理委員会を開催します。

委員会開催にあたりまして、外部委員を紹介します。

岩手県立盛岡みたけ支援学校の村上校長先生です。

よろしくお願いします。

なお、岩手県社会福祉事業団和光学園の白畑園長先生におかれましては、本日所用により欠席となりましたので、お知らせします。

続きまして、当院のメンバーを紹介します。

委員長の大山診療部長です。

副委員長の豊田事務部長です。

委員の菅野内科医長です。

委員の小原神経内科医長です。

委員の奈良看護部長です。

私は、事務局の斎藤です。

よろしくお願いします。

本日は9題ございます。時間に限りがございますので、申請者からの概要説明は、3分程度として、質疑応答、審議判定の流れで1議題あたり10分程度で行いたいと思いますので、ご協力をお願いします。

委員の皆様は、事前に資料をご確認いただけたと思いますが、COIについては、9題とも特に問題は無いと思いますので、早速審議に入りたいと思います。

## ＜申請者による説明後質疑応答＞

1) 当院NHO医療班活動における能登半島地震被災者へのお薬手帳の所持及び服薬状況に関する調査研究

(薬剤科 副薬剤科長 阿部 憲介)

C O I は問題なし。

他施設の者がいるが、一緒に行うのか。

→ 既に、インタビューは終了しており、27名問診を行い22名から同意を得ている。他施設の者は、3月まで当院にいた方である。

審査判定 → 承認

2) 当院におけるNHOフォーミュラリー導入による経済効果等の検証

(薬剤科 薬剤師 佐々木 諒太)

C O I は問題なし。

選択できる薬が変わってきてるので、比較するのは難しいと思うが如何か。

→ 6月に処方マスターを整備している。アンケートはQC活動と併用したいと考えている。フォーミュラリーの認知度も検証したい。

審査判定 → 承認

3) 次世代型薬剤識別システムを活用した持参薬鑑別に関する業務効率化の検討のための研究

(薬剤科 薬剤科長 一戸 集平)

C O I は問題なし。

既に導入している医療機関はあるか。

→ 北海道東北グループ管内では、当院が初めての導入となる。専用アイホン(56,000円)で、薬に表示されている記号等を読み込み、候補を出す。どれだけ効率があるのか研究したい。

初期費用300,000円、月額13,000円の費用発生する。

審査判定 → 承認

4) カンファレンスの見直しによる身体拘束解除への効果

(3階西病棟 看護師 田浦 育実)

C O I は問題なし。

評価項目を時間と意識調査の結果としているが、時間ではなく日数としたら如何か。

→ まずは、時間としたい。最終的には、全く拘束しないことを目指している。

審査判定 → 条件付承認（対象の選定について再考すること）

5) オムツ交換時の手指衛生の遵守率向上のための取り組み

（4階東病棟 看護師 村松 祥子）

COIは問題なし。

チェックの頻度はどれくらいなのか。オムツ交換に特化したタイミング（チェックリスト）を作つてほしい。

→ 1スタッフが1患者に対して1回で考えている。

審査判定 → 条件付承認（チェックリストを作り直し、オムツ用のチェックリストとして使い続けていけるようにすること。）

6) 重症心身障がい児（者）病棟の身体拘束解除に向けた事例研究

（1階さくら病棟 看護師 中村 美智子）

COIは問題なし。

カンファレンスの頻度はどれくらいなのか。

→ 申請書に誤字があるので、出し直す。

週1回15分で考えている。抑制患者は3名いるが、1名先行して研究を行いたいと考えている。

審査判定 → 条件付承認（同意書にメリット、デメリットを記載すること。分析方法にご家族の意見の取り入れること。）

7) 入院患者の家族に対する輪番の適正受診に関する指導効果

（3階東病棟 看護師 山崎 洋子）

COIは問題なし。

#800の認知度は、どれくらいなのか。

→ 前年に調査を行つてあるが、約5割の認知度である。

審査判定 → 条件付承認（タイトルの輪番を小児輪番とすること。アンケートの文中、「盛岡市ホームページより引用」と記載すること。同意書を添付すること。）

8) A病棟における吸引時の手指衛生遵守率の実態調査

（4階西病棟 看護師 大崎 瑞季）

COIは問題なし。

良い結果を期待する。

→ 研究者4名で行い、観察は1回。その後フィードバックする。また、別に期間を設定して再度行う。

審査判定 → 承認

9) 整形外科手術を受ける高齢患者への術前訪問に関する調査

(中材・手術室 看護師 中居 紗希)

C O I は問題なし。

この調査は、看護師の意識調査か、それとも患者側の意識調査なのか。

→ 患者側の意識調査である。患者さんは、立て続けに説明が続き疲れてしまう。（聞き取りは比較分析に使用する）

審査判定 → 条件付承認（タイトルの調査を実態調査とすること。聞き取りとアンケートは一緒に行わないこと。）

以 上